



嘔吐下痢症(はきくだし)



<嘔吐下痢症とは>

乳幼児は嘔吐下痢症(はきくだし)によくかかります。ロタウイルス(冬から春), アデノウイルス(1 年中), ノロウイルス(晩秋から冬)などによって起ります。突然激しく吐き始め, 続いて水のような下痢(レモン色~白色になることもある)になります。熱が出ることもあります。1週間位でよくなります。



<治療>

(1)くすり: 整腸剤, 下痢止め, 吐き気止めのおくすりを処方します。吐き気が強く, 内服が困難な場合には, 吐き気止めの座薬を処方します。吐き気止めの座薬は乱用すると錐体外路症状を起こすことがあるので, 容量, 間隔を守って下さい。年長児, 成人には漢方薬の五苓散を処方する場合があります。

(2)点滴: 吐き続ける時や脱水が強い時には, 水分, 電解質, 糖質を点滴します。

(3)入院: 激しく吐き続ける時, 下痢が頻回の時には入院が必要になることがあります。



<家庭での治療>

(1)吐いてすぐは飲むな: 吐き気が強い間は, 30 分間位は何も飲ませないでください。

(2)まずは水分から: 吐き気がおちついてきたら水分を少しずつ飲ませてください。1 回量は少なく, 回数を多く飲ませてください。乳幼児用のイオン飲料(OS-1, アクアライト, ビーンスタークポカリなど)は点滴に近い組成になっています。成人用スポーツ飲料はこどもには甘過ぎます。水で少し薄めて, 塩をばらばらとふるとちょうどよい濃度になります。お茶, ジュースには塩分が含まれていないので, 脱水になってしまいます。塩分補給のためにもイオン飲料を上手に利用しましょう。

(3)下痢だけになったら: 便の様子を見ながら少しずつ消化のよい食べ物を与えていきます。

※お風呂: 嘔吐がひどいときは控えましょう。ある程度治まれば, 下痢があっても入浴はかまいません。下痢のためにおむつかぶれがひどくなるので, お尻を洗ってあげましょう。



<便が白い, クリーム色になった>

ウイルス性胃腸炎では, しばしば便が白色からクリーム色になります。豆腐を潰したような白っぽいツブツブが便に混じることもあります。便が白くなる病気としては, ロタウイルスによる白色便性下痢症が有名ですが, ロタウイルス以外のウイルスでも白色便になることがあるので, 白色便性下痢症=ロタウイルスというわけではありません。便が白い場合には, 下痢が 5-7 日間続きます。



<便に血が混じった>

下痢が激しいと腸管粘膜がただれて出血することがあります。肛門が痛んで痔ができて出血することもあります。このほか, 病原性大腸菌などによる細菌性腸炎, 腸重積などの疾患でも血便は出現します。便の色に注意していて, 血が混じるようなら早めに受診してください。